

豊かな自然環境の中ではぐくまれた里山での生活（文化）の中には、自然を知り尽くした先人の知恵や技術がたくさん詰まっています。

今回は、味噌づくり、アラレづくり、寒ざらし粉挽き、釜戸でのご飯炊き等を行いました！釜戸での薪（火加減）ひとつにしても、味噌搗（つきの杵）につかわれる道具ひとつにしても、木材の特徴（性質）によって用途を使い分けます。

これを機に自然と人とのつながりを肌で感じてもらっていたら嬉しいです。



地獄蒸し大豆と手作り麴で味噌、完成！



九重の春を五感で満喫しちゃった♪

九重は四季によって、自然の装いがそれぞれ違います。今回、そんな九重の春を思いっきり楽しんでもらおうと、新しいプログラムを企画しました。

草原散策では、春の新緑を目で歓びながら、草花とふれあい、また、クロモジの楊枝づくりや桜餅づくりでは、香りを楽しんで、桜の味に舌鼓をうちました。皆さん、春の色・香り・感触・味を体いっぱいに取り込んで、九重の春を大満喫してもらえたようです。



九重の高原から さとばる時間

リニューアル記念号

九重ふるさと自然学校通信 Vol. 27

2014. 夏号

九重のさとばる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるような、のんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとばる時間」と名付けました。



草原をたのしむ、あじわう。



春は野焼きの黒、夏は緑、秋は黄金色の壮観な風景が目眩しい九重の草原は、まさに生きものの宝庫。農業や牧畜など、昔から人の暮らしに利用されてきたとともに、多くの生きもののすみかにもなってきました。植物は、季節ごとに多種多様な花を咲かせ、そこへ昆虫や野鳥などたくさんの動物が集まってきます。特に今からの時期は、草原散策がおすすめ。高原の涼やかな風を浴びながら、生きもの観察にピクニック、昼寝など、のんびりと思いいに過ごしてみませんか。自然学校でも様々な草原プログラムを用意しています。生きもの好きな方、伝統食・文化に触れたい方、中面を必見です！

【九重の草原スポット】



タデ原湿原
*九重町「長者原登山口」そば
*木道が設置されており、散策が楽しめる



一目山
*九重町「九重スキー場」前
*登山道があり、山頂からは阿蘇くじゅう360度の大パノラマ！

※九重は、阿蘇くじゅう国立公園に指定されています。公園内での動植物の採取・捕獲は禁止されていますので、ご注意ください。

スタッフ阿部のフィールド手帖 生きものいっぱいの田んぼづくりに奮闘中

九重ふるさと自然学校では“トキもすめるような田んぼ”をめざし、自然共生型の田んぼづくりに取り組んでいます。無農薬の徹底に加え、オタマジャクシがカエルになるまで中干を延期する（田んぼの水を切らさない）ことや、冬でも田んぼの一部には水がある状態を保つなど、“生きものがすみやすい

田んぼ”になるように管理します。このことで、環境に負荷を与えないだけでなく、田んぼづくりをすることが生きものの生息場所を増やし、自然を豊かにすることにつながるようになります。お米とともにたくさんの生きものを育む自然共生型の田んぼを体験してください。



夏は田んぼの季節！
中面の体験プログラムにぜひご参加ください。



【編集・発行】 さとばる時間 2014. 夏号 2014年5月27日発行

九重ふるさと自然学校 (運営：一般財団法人セブンイレブン記念財団)
〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34
TEL:(0973) 73-0001 FAX:(0973) 79-3434
Eメール: kujyu-sizengakkou@7midori.org

九重の自然体験ふーるど

さとばる

九重ふるさと自然学校の「さとばる」(九重自然教室)では、プログラムの実施だけでなく、草原にすむチョウの保全活動や地域野菜の畑づくり、ピオトーブやあそび場の整備なども進めています。九重の自然を「楽しむ!学べる!フィールド」として、どんどん進化していきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください!



草原で遊ぶ、学ぶ。

毎週土曜・日曜は、「さとばる一般開放」
 散策路を整備しておりますのでご自由に園内を散策、四季折々の景色や花々をご堪能いただけます。
 *主催行事の関係で、休園する場合があります

あなたの「へえ〜!ほお〜!」を引き出したい!!

さとばるミニ講座 開講!
 自然について知識を深める内容です。

6/22 (日) 野鳥観察
 7/13 (日) 畑 (堆肥作り)
 8/10 (日) 植物観察

時間: 10:30 ~ (約1時間)
 参加費: 100円
 申込: 不要



参加してきました!

九州オルレを歩いて、九重の草原から絶景を満喫! 九重トピックス

5月10日(土)、昨年12月に開通した「九州オルレ 九重・やまなみコース」で、九重町主催の「新緑の春風ウォーク」が行われました。当日は天候に恵まれ、大分県内のみならず、他県からの参加者約300人が集まりました。コースは飯田高原を十分に満喫できる、九重「夢」大吊橋から長者原までの全長約12kmです。普段通ることのない雑木林や野焼き後に真っ黒だった大地

が緑色に変わりつつある草原を通り、山菜採りに夢中になりながらも、風景や草花を楽しみながら歩きました。コースの途中では、釜の口温泉や九重自然観、やまなみ牧場など地域の方々からのおもてなしもあり、改めて飯田高原の豊かな自然と人情深さを知ることができ、とても満足できた一日でした。ぜひ、歩いてみてください。



▲野焼き後の泉水山を目前に草原を歩く

九州オルレ「九重・やまなみコース」
 【お問合せ先】九重町商工観光・自然環境課
 TEL:0973-76-3150

▲オルレの看板。青が正方向、赤が逆方向を指す

「高橋」賛同者を得ることですね。地元住民との関係者に伝統文化としての野焼きの重要性を理解してもらったことが、野焼きを実施する上で必要だか

最初、野焼きはなぜ必要なのでしょう。野焼きの目的は、草原景観の維持、牧畜をはじめとする農業文化の継続、害虫の駆除、山火事防止、そして多様な植物や動物の生育・生息環境の保全と多岐に渡ります。野焼きを続けてきたことで、希少植物のサクラソウの個体数が増加するなど、成果が出ています。

九重の様々な分野で活動する人にお話を聞く連載記

くじゅうびと Vol.1

途絶えていた野焼きを復活

九重町の飯田高原は、広大な草原が広がっており、現在はその内、約600区で野焼きが行われている。

飯田高原野焼き実行委員会 会長 高橋 裕二郎さん



飯田高原野焼き実行委員会 会長 高橋 裕二郎さん

飯田高原の草原と野焼き

野焼きは、国や自治体、企業の助成金でこれまで継続していましたが、今後も続ける上で、資金の確保は死活問題です。夢は、協賛企業を募って、継続的に実施できるようなこと。これからは徐々に野焼きの範囲を広げ、昔の草原風景を取り戻していきたいです。

「野焼きを継続していく上で、必要なことはなんですか。」
 (高橋) まず第一に、「人の確保」です。今は若い世代の後継者を増やすことが必要です。そして、もう一つが、「野焼き資金の確保」です。野焼きは、基本的にボランティアで行っています。しかし、防火帯つくりの際の草刈りや野焼き時のガス等の燃料代、消火機材の購入、保険代、作業時の食料代など、多額の経費がかかります。ボランティアといえども、携わる皆が楽しく、事故なく安全に、そして、やりがいを感じてくれる仕組みが大切です。

また、技術的な面では、メンバーの野焼き経験が乏しかったため、昔、野焼きをしていた人に話を聞き、教えを乞いました。防火帯つくりも場所によって必要がそうではないかなど、先人の知恵が役に立ちました。高橋さんは火入れ役をされていますね。(高橋) そうです。野焼き当日、最初に火を入れた人が、野焼きの責任者。つまり、会長の私が火を入れてから始まります。火入れ役は、非常に重要です。野焼き範囲を数班に分け、各班、数人の火入れ役がリーダーとなり、きちんと統制を取りながら進めないとはいけません。(風などを考慮して)火を入れる順番があり、勝手に他の人が火をつけることは、御法度。万が一、防火帯を越え、延焼するようなら、食糧を確保し、延焼防止隊に指示を出して、食い止めなければなりません。そのため、緊急の判断をする人の存在が非常に重要になります。それが、事故の防止にもつながるんですよ。

おひとりでも、お友達同士でも、ご家族でも!

自然学校の活動に参加しませんか?

HOTであつた
 粋なプログラム
 入りました

夏休みの自由研究講座

草原などで昆虫や植物を採集し、本格的な標本作りにチャレンジ! 標本作りに必要な材料はこちらで用意します。

7/20 (日)

昆虫コース



7/21 (月・祝)

植物コース



時間: 10:00 ~ 16:00
 参加費: 各回 800円
 対象: 小学生など
 場所: 九重自然教室(さとばる) (九重町田野 1726-143)
 締切: 当日参加可

6/14 (土)

草原の草花あそびとちまきづくり



草原を散策しながら集めたヨシの葉で、端午の節句のちまきをつくりましょ♪

時間: 13:30 ~ 17:00
 場所: 九重自然教室(さとばる)
 参加費: 大人 500円
 子ども 300円 (小・中学生)
 定員: 20名程度
 締切: 6月8日(日)



※今年は6月2日が旧暦の5月5日です。

九重生きものしらべシリーズ

6/28 (土)

田んぼの生きものしらべ 夏

田植え後の田んぼでドジョウやカエルを捕まえよう

7/19 (土)

川の生きものしらべ

筑後川の最上流、九重の川にはどんな魚がいるかな?

8/9 (土)

草原と雑木林の生きものしらべ

真夏の草原や雑木林、バッタやクワガタにあえるかな?

時間: 13:30 ~ 17:00
 参加費: 各回大人 500円
 子ども 300円 (小・中学生)
 ※シーズン割引あり。
 詳しくはお問合せ下さい
 集合: 九重自然教室(さとばる)
 締切: 当日参加可



川の生きものしらべ

7/5・6 (土・日)

夏のボランティアワークキャンプ

自然との共生を目指し、泊まり込みで田んぼ作業。心地よい汗を一緒に流しませんか。

時間: 7月5日 13:30 開始
 6日 14:00 終了
 場所: 九重自然教室(さとばる)
 参加費: 無料
 対象: 社会人及び学生
 定員: 14名
 締切: 6月27日(金)



他にも!
 ☆田んぼの生きもの観察 ☆温泉入浴
 ☆オトナたちの夜の交流会 を予定しています。

トキもすすめる田んぼづくり 全3回シリーズ

自然共生型の田んぼでお米を育てながら、そこにすむ生きものたちも観察してみませんか?

7/12 (土)

第2回 夏のヒエ取り

米づくりの大敵「ヒエ」などの雑草を取り除きます。

9/20 (土)

第3回 秋の稲刈り

鎌を使って手刈り体験! 掛け干しも行います。

時間: 10:00 ~ 16:00
 対象: 小学生以上
 参加費: 大人 1,500円 (中学生以上)
 子ども 1,000円
 定員: 20名
 締切: 開催日の1週間前まで



秋には参加回数に応じて、新米をプレゼント!